

## 足羽川の瀬切れ対策検討結果 について

平成18年1月31日

福 井 県

1

### <目 次>

- 1, 瀬切れ対策の検討方針
- 2, 瀬切れの影響把握
- 3, 瀬切れ対策の検討
- 4, 瀬切れ対策の検討結果
- 5, 瀬切れ対策に関するまとめ

2

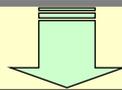
## 1, 瀬切れ対策の検討方針

3

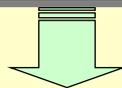
### 瀬切れ対策の検討方針

- ①瀬切れによる農業・漁業・景観への影響の実態は？
- ②瀬切れによる生態系への影響は？
- ③瀬切れに対する地元の人々の考え、思いは？

瀬切れによる各方面への影響を把握する



第29回流域委員会で提示した4つの対策案の実現の可能性を検討



瀬切れ対策に関するまとめ

4

## 2, 瀬切れによる影響の把握

5

### 瀬切れが確認された区間



毘沙門橋から上流を望む  
(平成12年8月25日)

足羽川堰の下流から  
毘沙門橋の上流まで



6

## 足羽川の過去と現在に関する意見

### ①瀬切れによる農業・漁業・景観への影響の実態 (当事者へのヒアリング結果)

#### <過去>

- 瀬切れが発生したとき、緊急避難としてコイなどを天神橋より上流へ運んだことがある。
- 昔は天然アユが天神橋上流へ遡上していた。

#### <現在>

- 農業では、渇水時は番水を強いられているが、収量に大きな影響はない。
- 瀬切れによる漁業の被害は特にはない。
- アユ釣りは上流の美山で行われ、瀬切れ区間で釣りは行われていない。
- 観光面では瀬切れの有無による影響は特にはない。

7

## 足羽川の過去と現在に関する意見

### ②瀬切れによる生態系への影響 (専門家へのヒアリング結果)

- 人為的に川の水量を変えることは生態系に影響を与える。
- 外来種の問題なども含めて充分また慎重な検討が必要。
- 今の姿の急変を避けつつ、人間との共存を目指していくべき。
- 流域の森林の管理が大切である。
- 瀬切れによる社会への影響を考慮すべき。

8

## 足羽川の過去と現在に関する意見

### ③瀬切れに対する地元の人々の考え、思い。 (自治会長さんを中心としたヒアリング結果)

#### <過去>

- 昔は水量が多く、川で泳いでいた。瀬切れが起こった記憶はない。
- 中州はなく、樹林化もしていなかった。
- 高水敷の草木は牛の餌に利用されていた。
- 6月～9月に掛けて、天神橋付近にアユが多数生息していた。他にもナマズ、ウグイ、マスなども生息していた。

#### <現在>

- 現在は水量が少なくなった感じがする。
- 水があったほうがよい、水の流れを作ってほしい。
- 利水よりも治水に関心がある。
- 川に関心がなくなった。
- 治水面の強化の次に環境面から憩いの場などの整備をしてほしい。
- 夏場に瀬切れが発生しても、生活上困ることはない。
- 自治会の集会などで、瀬切れに対する意見は出たことはない。
- 昔に比べ井戸の水位が下がったが、特段生活に支障はない。

9

## 瀬切れによる影響

### ①瀬切れによる農業・漁業・景観への被害の実態は？

渇水年であった平成6年、8年においても、番水を行ったこともあって農業の収量被害はなかった。また、過去に比べ、天然アユの遡上数は減ったが、瀬切れによる漁業被害は特にない。

### ②瀬切れによる生態系への影響は？

生態系は昔と比較して変化しているかもしれないが、瀬切れのある川の生態系として成立しており、特に問題はない。

### ③瀬切れに対する地元の人々の考え、思い

水はあったほうがよいが、現状で特に生活に困ることはない。

10

### 3, 瀬切れ対策の検討

11

### 瀬切れ対策の検討

#### ①案：水利権者との調整

(方法) 過去の渇水時での取水や番水の実態を調べ、現在の水利権の中で可能な限り下流河川へ放流できるかを検討

#### ②案：湧水の利用

(方法) 渇水時の地下水位を調べ、河床に水路を設けた場合の湧水利用の可能性を検討

#### ③案：放棄田の利用 (※放棄田：数年間手入れをしていないと思われる水田)

(方法) 足羽川堰より上流に既存する放棄田、水路を利用して、渇水時に水の供給ができるかを検討

#### ④案：ダム供給

(方法) 計画中の足羽川ダムに足羽川の維持流量のための容量を確保する。

12

## ①案：水利権者との調整

13

## 番水の状況

### ①案：水利権者との調整

平成4～17年（計14ヶ年）に発生した番水は5回であり、**3年に1回の頻度で発生**している。

年度	番水実施	期間	番水の状況
H4			なし
H5			なし
H6	○	7月18日～8月28日	42日間 3幹線で3日に1日送水停止
H7			なし
H8	○	7月22日～8月15日	25日間 3幹線で3日に1日送水停止
H9			なし
H10			なし
H11	○	8月3日～8月12日	10日間 3幹線で3日に1日送水停止
H12	○	7月17日～8月27日	42日間 3幹線で3日に1日送水停止
H13	○	7月30日～8月20日	22日間 3幹線で3日に1日送水停止
H14			なし
H15			なし
H16			なし
H17			なし

14

## 足羽川堰上流の流量と水利権量の関係

渇水時における取水調整の必要性は理解できるが、水量に余裕があるわけではないため、恒常的な調整は困難である。（足羽川堰堤土地改良区談）

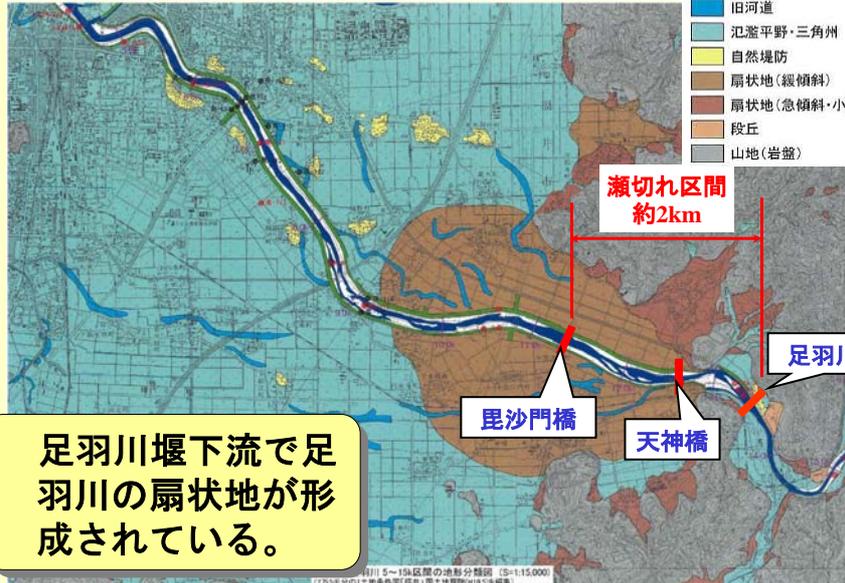


水の利用形態の変化を踏まえた長期的観点からの調整が必要

## ②案：湧水の利用

## 湧水の利用（地形特性）

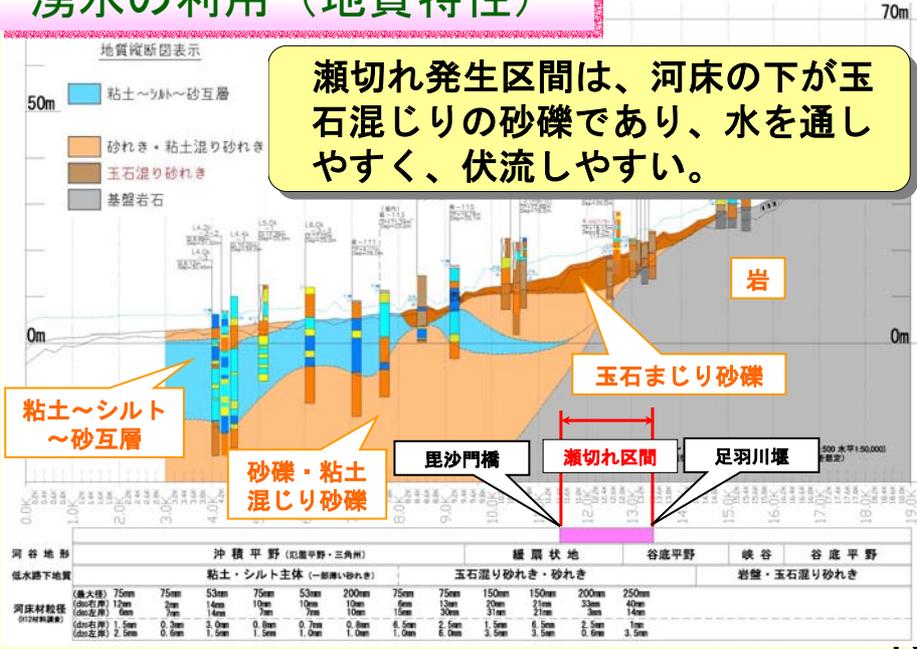
### ②案：湧水の利用



足羽川堰下流で足羽川の扇状地が形成されている。

## 湧水の利用（地質特性）

### ②案：湧水の利用



### ③案：放棄田の利用

19

### 放棄田の利用

### ③案：放棄田の利用



美山町蔵作地先から天神橋区間の放棄田と思われる水田は、約5~6ha (平成17年秋)しかなく、しかも分散して存在しているため、放棄田の利用は困難である

20

## ④案：ダム供給

21

### ダム供給

④案：ダム供給

足羽川ダムに瀬切れ解消のための容量を確保する



環境・コストに負荷がかかる

22

## 4, 瀬切れ対策の検討結果

23

### 瀬切れ対策の検討結果

- ①案：水利権者との調整  
流域の変化を踏まえた長期的観点からの調整が必要
- ②案：湧水の利用  
小規模な掘削では困難
- ③案：放棄田の利用  
放棄田の利用は困難
- ④案：ダム供給  
環境・コストに負荷がかかる

瀬切れを解消する対策として

- ①～③は実現性が低い
- ④は環境・コストに負荷がかかる

24

## 5, 瀬切れ対策に関するまとめ

25

### 瀬切れ対策に関するまとめ

#### 瀬切れによる影響

農業、漁業、景観、生態系について農業漁協関係者、地域住民や専門家の意見

- 必ずしも流水を確保しなければならないというものではない

#### 瀬切れ解消の検討結果

- ①案～③案：実現性が乏しい
- ④案は環境・コストに負荷がかかる

#### まとめ

- 長期的な観点からは、水が流れている足羽川が望ましい。
- 瀬切れ解消の緊急性は乏しい。

26